

第3回統計委員会と統計利用者との意見交換会  
～「科学技術・イノベーション政策の科学」の観点からの統計整備～

平成22年11月19日  
内閣府統計委員会担当室

1. 趣旨

「公的統計の整備に関する基本的な計画」(平成21年3月閣議決定)において、統計委員会は、統計ニーズを的確に把握するため、統計利用者との意見交換を随時実施し、関係府省における統計の整備及び提供、基本計画の見直し、諮問事項の審議等に活用することとされている。

現在、公的統計は様々な課題に直面しているが、特に重要なものとして、行政において「根拠に基づく政策立案」(evidence-based policy making)への要請が高まっている点が上げられる。一方、科学技術・イノベーション政策を効果的・効率的に推進していくために、客観的根拠に基づく政策形成の実現に向けた「科学技術・イノベーション政策の科学」に関する取り組みが欧米を中心に始まっており、我が国においても、本年6月にまとめられた「科学技術基本政策策定の基本方針」において、科学的根拠(エビデンス)に基づく政策立案の実現に向け、科学・技術やイノベーションに関する政策を対象とした先端的研究である「政策のための科学」を推進することが謳われている。

このような背景から、今後の公的統計の体系的整備に資することを目的として、「科学技術・イノベーション政策の科学」の観点からの統計整備をテーマに統計委員会と統計利用者との意見交換会を開催する。

2. 統計利用者とプレゼンテーションのタイトル

科学技術政策研究所(NISTEP) 所長 桑原輝隆

- 科学技術・イノベーション政策の科学のための統計・データ基盤の整備について -

成城大学 社会イノベーション学部 教授 伊地知寛博

- 科学技術・イノベーション統計の整備等に係る現状と課題：政策研究分析者側の視点および国際的動向を踏まえて -

3. 意見交換会の論点

「科学技術・イノベーション政策の科学」の観点から求められる統計整備について

エビデンスベースの科学技術・イノベーション政策の立案に当たっては、エビデンスをどのように作成・蓄積し、活用するかが重要な観点の一つになると考えるが、公的統計の体系的整備やデータ基盤の構築に関してどのような課題や留意事項があるか。

「科学技術・イノベーション政策の科学」に関する海外の動向について

エビデンスベースの科学技術・イノベーション政策に資するイノベーション測定に対するニーズの高まりを受けて、欧米を中心に様々な取り組みが始まっているが、データの整備や加工・分析に関して具体的にはどのような取り組みが行われているか。

科学技術関連統計に関する課題について

日本学術会議より「日本の展望 学術からの提言2010」(平成22年4月)において研究開発関連統計の国際比較性等の課題が指摘されているが、現在の科学技術関連の統計に関してどのような課題があるか。

以上